

# 企業局 平成 28 年度当初予算のポイント

照会先

企業局経営総務室

経営企画担当

019-629-6388

## [基本的な考え方]

長期経営方針（H22～31 年度）に掲げる「クリーンな電力と良質な工業用水の安定供給」を引き続き実現するため、新たに策定する第 5 次中期経営計画（H28～31 年度）に基づき、電力システム改革への対応、再生可能エネルギーの新規開発、施設設備の長寿命化・耐震化等を推進していきます。

## 電気事業 ～電力システム改革への対応と新規開発の本格化～

(単位：百万円、税抜)

	H28	H27	増減
収 益	4,944	4,948	▲4
費 用	4,509	4,257	252
純 利 益	435	691	▲256

### [収益減の主な要因]

- ・主力の岩洞第一発電所のオーバーホール等に伴う電力料収入の減

### [費用増の主な要因]

- ・発電停止時受電電力料金の増（新規）
- ・PCB 廃棄物処理業務に係る委託費の増

## 重点目標と要求のポイント

(金額は税込)

### 1 電力システム改革への対応

- 平成 28・29 年度は電力会社との基本契約（平成 22～31 年度）を継続 ※ 平成 30・31 年度は国等の動向を踏まえ検討
- 発電事業者として精度の高い受給調整に対応するため、監視当直体制を充実(4グループ：8名→5グループ：10名)

### 2 信頼性の確保

- 長寿命化・耐震化に向け施設の計画的な修繕・改良・更新を実施

**修繕費** 706 百万円(H28) ← 811 百万円(H27) [△105 百万円]

- ・岩洞第一発電所 水車発電機オーバーホール等 534 百万円
- ・北ノ又発電所 取水堰堤コンクリート補修工事等 52 百万円
- ・御所発電所 水車発電機補修工事等 47 百万円 など

**改良費** 1,060 百万円(H28) ← 410 百万円(H27) [+650 百万円]

- ・御所発電所 変圧器・開閉器更新等 366 百万円
- ・岩洞第一発電所 貯水池護岸工事他(国営岩手山麓農業水利事業負担金)等 269 百万円 など

**委託費** 507 百万円(H28) ← 327 百万円(H27) [+180 百万円]

- ・土木施設データベース作成業務(4 発電所) 32 百万円
- ・発電施設等耐震化診断(5 発電所等) 11 百万円 など

### 3 経済性の確保

- 電力料の安定確保と高効率機器の導入
  - ・供給電力量 530,927MWh(H28) ← 557,771MWh(H27) [△26,844MWh]
  - ・電力料収入 5,073 百万円(H28) ← 5,112 百万円(H27) [△39 百万円] ※ 料金単価 7.88 円/kWh(H26・27 実績)
  - ・滝発電所において高効率機器を導入 2 百万円(H28) ※ H28:機器製作 H29:機器据付

### 4 新規開発

- 大規模風力発電所・水力発電所の建設着工

**建設費** 8,337 百万円(H28) [皆増]

- ・高森高原風力発電所 風力発電システム製作据付他工事等 8,229 百万円  
総事業費 約 127 億円  
最大出力 25,300kW(2,300kW×11 基) 年間供給電力量 約 53,000MWh(一般家庭約 16,000 世帯分)  
運転開始予定：平成 29 年 11 月
- ・築川発電所(仮称) 発電所基礎・建屋建築等 108 百万円  
総事業費 約 17 億円  
最大出力 1,900kW 年間供給電力量 約 11,000MWh(一般家庭約 3,300 世帯分)  
運転開始予定：平成 33 年度

## 5 地域貢献

- 環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金の活用 53 百万円(H28) ← 49 百万円(H27) [+4 百万円]
  - ・ クリーンエネルギー導入支援事業 30 百万円(H28) ← 25 百万円(H27) [+5 百万円]
    - 市町村等が実施する太陽光発電を活用した街路灯設置等への支援 (補助率: 9/10 または 3/4)
  - ・ 一般会計への繰出し 23 百万円(H28) ← 24 百万円(H27) [△1 百万円]
    - CO<sub>2</sub>削減やクリーンエネルギー導入促進に寄与する事業に充当

H27 年度末積立金残高 (見込) 105 百万円 (H28 以降も同程度の残高を維持見込み)

- 植樹活動支援 4 百万円(H28) ← 3 百万円(H27) [+1 百万円]
  - 支援予定地区数 19 箇所 職員参加予定 100 名

## 工業用水道事業 ～計画的な設備更新による安定供給の継続と費用の低減～

(単位: 百万円、税抜)

	H28	H27	増減
収 益	913	925	▲12
費 用	899	908	▲9
純 利 益	14	17	▲3

[収益減の主な要因]

- ・ 長期前受金戻入の減<sup>※1</sup>

[費用減の主な要因]

- ・ 固定資産除却費の減<sup>※2</sup>

※1※2 は 入畑ダム共同施設の一部譲渡(H27 完了)に伴うもの等

### 重点目標と要求のポイント

(金額は税込)

### 1 信頼性の確保

- 工業用水の安定供給に向けた施設設備の計画的な修繕・改良と耐震化

**修繕費** 107 百万円(H28) ← 100 百万円(H27) [+7 百万円]

- ・ 第二北上工水 沈砂池の躯体及び設備補修等 60 百万円
- ・ 第一北上工水 配水ポンプ補修等 21 百万円
- ・ 第二北上ろ過 ろ過器部品交換等 18 百万円 など

**改良費** 669 百万円(H28) ← 656 百万円(H27) [+13 百万円]

- ・ 第一北上工水 浄水場高圧受電設備更新等 301 百万円
- ・ 第二北上工水 送水管更新等 272 百万円
- ・ 第二北上ろ過 監視制御装置更新等 94 百万円 など

### 2 経済性の確保

- 供給能力維持のための負担金の受入と費用節減の取組

- ・ 基本契約水量

一般水 39,189 m<sup>3</sup>/日(H28) ← 38,389 m<sup>3</sup>/日(H27) [+800 m<sup>3</sup>/日]

ろ過水 15,900 m<sup>3</sup>/日(H28) ← 15,900 m<sup>3</sup>/日(H27) [増減なし]

- ・ 給水収益 904 百万円(H28) ← 905 百万円(H27) [△1 百万円]

※ 閏年による日数減等により給水収益が減少

- ・ 一般会計負担金 (金ヶ崎ろ過施設 (第二期) の維持)

33 百万円(H28) ← 33 百万円(H27) [増減なし]

- ・ 営業費用 849 百万円(H28) ← 866 百万円(H27) [△17 百万円]

設備点検業務・配水調査業務等の委託費の減、固定資産除却費の減 等